

第1回事務局会議事録

日 時：2006年5月30日 16:00～18:20

場 所：学会センタービルB1 会議室

出席者：村山会長、柴崎副会長、今井総務担当理事、河端広報担当理事、
落合会報担当理事、太田GIS技術資格認定局副局長、福井事務局長

ゲスト：難波税理士（GISA契約税理士）

【議題】

I 自己紹介

事務局会の仕事について

本日の検討事項

*事務局 スケジュール等の確認 / 各地方事務局の管轄区分と会計の方法 /
第15回大会 / KAGIS 対応

*広 報 HPの更新に関して / 学会の英語表記に関して

*会 報 ニュースレターについて

など

その他 各種アンケート回答の担当 / 再来年度以降の大会会場の選定方法 /
学会賞について / 次回日程など

I 自己紹介（省略）

【会長挨拶】

技術資格制度の推進

国際交流の強化（他学協会・関連学会連合との交流を含め）

法人化対応（会計の整備、会員獲得、広報活動強化）

以上を今期GISA活動の3本柱としたい。

事務局会の仕事について（事務局長）

年に2回の理事会を補う存在として、学会の運営に携わるのが事務局会の仕事である。

本日の検討事項

【技術資格認定局】（太田GIS技術資格認定局副局長）

5/16に既に全体会議による規則などの承認及び幹事・審査委員の選任を行なった。6/14に行う幹事会で事務分担等を決定し、7月中旬に実務を開始したい。

「NLに周知の原稿書いてください」

「実務に必要な費用の積算を出してください」

「関連学会との連携については、先ず、GIS学会として呼びかけた方が良いと思う」

連携出来そうな学会名、また既に資格を出している学会との連携の仕方がそれぞれ挙げられた。

【会計方法について】

「実務的に考えると、年2回ほどのメ、勘定科目の確定が必要。また、地方事務局やSIGで独自の収入があっても、これまでは、本部事務局には経過報告が無かった。その扱いをどのようにすべきか」

会計単位は、人格の無い社団として別個に処理するのが基本ではある。

「本部からの補助金が適正に処理されているのかどうか。法人化のとき、地方事務局込みで法人化したいので、その時に地方に独自の資産があると障害が生じないか」

税金の問題は、収益事業をした場合、生じてしまう。規模にも寄るが、時期を区切って本部で会計するのが適切である。

「お金の支給、受理の仕方を早く知りたい。ガイドライン、マニュアルが欲しい」

難波税理士、長坂財務担当理事らに作成を依頼することとする。

【地方事務局】

4月の理事会で、各地方事務局の管轄区分を決めて欲しいという要望が出ていた。

「管轄区は特に指定せず、重複部分があっても構わないのではないかと。イベント案内など場合によっては、広報範囲を広く取りたいこともあると思う」

【広報】

IT理事会で英語表記の承認を取る。

「アドレスがあまりよくないのでは？」

「既に品切れの用語集のデータは、出来ればwebにupし、広く利用していただくようにしてはどうか」

【大会会場選定について】

再来年度以降の大会会場が決まっていない。

「会場として相応な条件を挙げ、事務局会で先ずは持ち込んで欲しい」

また、講論集を冊子にするか、CD-ROMにするかは、会場でアンケートをとり、次年度より反映させる。

【次回事務局会】

7月11日(火)16:00～ 於：学会センタービルB1会議室

大沢大会実行委員長と小口渉外委員長にもご出席いただく方向で調整する。